

第3回岩出市文化文教ゾーン魅力・再発見!! 日本遺産「葛城修験」公開講座

根来路散策デジタルスタンプラー同時開催!
詳しくはリンク先ページ下方をご覧ください→



地域をひねる

葛城修験

- 修験道から生まれた歴史と文化 -

IWADE



KINOKAWA



KATSURAGI



HASHIMOTO



開催にあたって

修験道の開祖である役行者が初めて修行を積んだ地である葛城の峰々。和歌山県・大阪府・奈良県にまたがる総延長112kmに及ぶ葛城修験の道筋には、28の経塚をはじめとして、寺社や行場といった特徴のある関連文化財が点在しています。

葛城修験について広く
知ってもらい、紀の川流域の
4市町・岩出市文化文教
ゾーンの活性化を図るために、
講演会を開催します。



葛城修験日本遺産
活用推進協議会



講師 宮城 泰年 氏

本山修験宗管長、聖護院門跡門主

『葛城修験の今昔 -現在の入峰の作法も併せ見る-』

入峰記録から聖護院の修行コースの変遷、殊に明治維新を境にして今の在り方を見るとともに、山伏の持ち物などについても「山伏問答」を通じて知っていただきたい。



略歴 / 1931年京都府生まれ。龍谷大学文学部国文学科を卒業後、新聞社に勤務。その後、聖護院に帰山。2007年に聖護院門跡第52代門主・本山修験宗4代管長に就任。修験を自ら実践するだけではなく、修験道に関する研究のほか、宗教者として平和活動に取り組む。

日時 令和5年11月18日(土)

13:00~16:00 (開場12:30)

場所 旧和歌山県議会議事堂(一乗閣)

和歌山県岩出市根来 2347-22

※重要文化財

TEL / 0736-61-1160

定員 200名(要申込・先着順)

参加無料

※手話通訳、一時保育が必要な方は
お申込みの際にお知らせください。

講師 宮本 佳典 氏

郷土史家

『葛城修験の寺々

-根来寺から小峯寺まで-

葛城修験と関係する各地域の代表的な聖地=根来寺、粉河寺、堀越癡観音、小峯寺を例にとりあげ、「修験と寺とのかかわりについて」お話しします。



略歴 / 1946年和歌山県生まれ。長年、教職の傍ら仏教民俗学を研究。橋本市立隅田小学校校長を定年退職後、橋本市、紀の川市、かつらぎ町の文化財保護審議委員を務める。県内の歴史や文化に造詣が深く、平成28年度に橋本市文化表彰の文化賞を受賞。

根来寺行者堂

岩出市

根来寺行者堂(重要文化財)は、修驗道開祖役行者像を本尊として祀る修法の道場である。根来寺は平安時代(12世紀)に、覚鑁上人が大伝法院を創建して開き、この時覚鑁上人は根来の地にあった修驗行場を末寺とした。この末寺が現在の根来寺の起源で、行者堂はこの創建以来の歴史を伝える貴重な道場である。



四郷千両踊り

かつらぎ町

毎年10月18日に近い日曜日に大宮神社の秋祭で奉納されている豊年万作等を祈念する踊りで、かつて旧暦7月16日に奉納されていたが一時途絶え、昭和58年に復興した。

中世に起源するとされ、少なくとも江戸時代に遡る。登場役の口上で修驗者が伝えた踊りであると述べており、葛城修験が里人とともに守り伝えられてきたことを示すものである。



申込方法

申込期間10/1(日)～11/3(金・祝)

必要事項を明記し、下記のいずれかの方法でお申込みください。定員になり次第締め切ります。(先着200名)

①電話／Fax／メール／郵送／申込フォーム

②申込書提出 各施設の休館日にご注意ください

〈申込書受付施設〉

岩出市立岩出図書館、新義真言宗総本山根来寺、和歌山县植物公園緑花センター、近畿大学生物理工学部、和歌山県立森林公園根来山げんきの森、岩出市民俗資料館、道の駅「ねごろ歴史の丘」、旧和歌山県議会議事堂(一乗閣)

申込フォーム
はこちら▼



お申込み・お問合せ先

〒649-6202

岩出市根来 1472-1 岩出市立岩出図書館

電話: 0736-62-7222 Fax: 0736-62-7150

メール: iwapetoshokan@mail.city.iwade.wakayama.jp



第3回岩出市文化文教ゾーン魅力・再発見!!

日本遺産「葛城修験」公開講座

令和5年11月18日(土)

参加申込書 〈申込期間10/1(日)～11/3(金・祝)〉

代表者	氏名	同行者 氏名 (3名まで)		
	住所			
	電話番号			
希望される方は <input checked="" type="checkbox"/> してください (無料)	<input type="checkbox"/> 手話通訳	<input type="checkbox"/> 一時保育	氏名 (11/18 時点)	年齢 歳
			氏名	年齢 歳

中津川行者堂

紀の川市

中津川は二十八宿の「中台」と言われる葛城修験の中心地とされ、本山派聖護院により「葛城灌頂」という重要な儀式が行われてきた。熊野神社や行者堂、第7番経塚などの行場があり、役行者が行場を開くために協力した前鬼と呼ばれる五鬼の子孫が現在でも行場を守り、様々な協力を働いている。



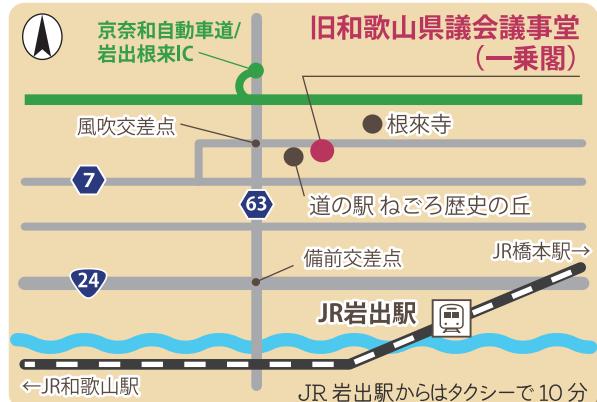
不動山の巨石

橋本市

この行所は葛城山から吉野金峯山へ橋を架けるため、役行者が一言主神に集めさせたと伝わる巨石群である。集落の外れから635段の階段を登りつめた先に、3～5m以上の巨石が屹立する光景が目に映る。顔が醜かった一言主神は人目を避け、日中は活動しなかったため、集石だけで終わったという伝承を今に伝える。



会場アクセス



※駐車場は旧和歌山県議会議事堂正面の駐車場、または道の駅に隣接する若もの広場正面の駐車場をご利用ください。

※台風などの影響により、開催を延期または中止する場合があります。

地域を むすぶ 葛城修験